

# 南部町舗装修繕計画更新特記仕様書

## 1. 適用範囲

本特記仕様書は、「南部町舗装修繕計画更新業務」（以下、「本業務」という。）に適用する。

## 2. 目的

本業務は、南部町が道路維持補修の基礎資料を作成するため、令和6年度に実施した路面性状データ（以下、「過年度業務」という。）の評価結果や画像データと町道網図が連動した評価図（GISビューア）を作成して、舗装修繕計画更新を目的とする。

## 3. 業務期間

令和7年8月29日から令和8年3月19日（完了日）までとする。

## 4. 対象路線延長 その他町道 L = 128.2 km

## 5. 業務概要

### (1) 計画準備

業務遂行のための方法、工程等についての計画立案を行う。

### (2) 評価資料作成

#### ① 基盤データ作成

GISの背景図として、1/2500～1/25000 程度の読み込み図又はDM等を配置するとともに、町作成の道路網図よりGISデータを作成する。

#### ② データ加工

過年度報告書の路線情報や写真データ、図面等の点・線データについて、GISで動作可能なように座標情報や各種数値調整を行い、(2)のデータと連結作業を行う。

#### ③ 評価図作成

過年度業務で取得した数値データ（路線の位置及び評価情報等）と路面撮影画像を連動して無償閲覧できる評価図（GISビューア）を作成するものとする。

なお、路面性状調査の評価は、100m及び20m区間単位で「ひび割れ率」「わだち掘れ量」「縦断凹凸（IRI）」「MCI（維持管理指数）」を算出しており、このうち、20m区間の評価ランクごとに着色表示した路面性状評価図を作成するものである。

### (3) 整理とりまとめ

(2)で作成したGISビューアについての操作説明書、損傷総括表、評価図印刷図、その他関係資料について整理し、報告書としてとりまとめを行う。

### (4) 舗装修繕計画更新

本業務は舗装修繕工事を行うにあたり、路面性状調査結果による路面の損傷状態や道路の利用状況、道路の特性を考慮して整備優先順位を決定する。

#### ①評価項目の設定

- ・舗装修繕箇所の優先順位を決定するための評価項目、評価方法を立案する。
- ・評価項目は、路面の損傷状況、道路の利用状況、道路の特性等から設定する。
- ・評価項目に必要な情報は、発注者からの貸与資料および受注者の収集資料とする。
- ・評価方法は、客観性を重視した定量的評価とする。
- ・詳細な評価項目、評価方法は協議により決定する。

#### ②整備優先順位の決定

- ・整備優先順位は、上記を考慮して客観的に評価できるよう一覧表形式で整理する。
- ・報告書は、評価項目の抽出理由、評価方法の考え方、概算工事費の算出根拠について整理する。

### 6. 打合せ協議

打合せ協議は業務着手時、中間1回、成果品納入時の計3回実施するものとする。

### 7. 成果品

成果品は次のとおりとする。

- |                 |    |
|-----------------|----|
| (1)ビューアシステム     | 1式 |
| (2)報告書          | 1部 |
| (3)電子データ(DVD-R) | 1部 |